

JAA京都セミナー 開催のご案内 「マスメディア、広告会社、広告主は、このままで生き残れるのか」

日本で唯一の広告主企業約300社のみで組織された日本アドバタイザーズ協会(JAA)では、日々 変化を続ける広告・マーケティング環境への対応や、企業と生活者を結ぶ最適なコミュニケーション のあり方を研究しております。

この度、京都広告協会様、並びに京都広告業協会様のご協力を賜り、JAAとして京都で初のセミ ナーを開催することになりました。地元老舗企業の聖護院八ッ橋総本店様のブランディング成功事例 をはじめ、京都新聞社様の広告展開事例や、京都産業大学経営学部准教授の伊吹勇亮様とワコール 執行役員広報・宣伝部長の猪熊敏博様との対談もございます。

広告界でご活躍されている皆様にとりまして、参考となるお話が多数あるかと存じますので、この 機会にぜひご参加いただき、広告・ブランディングの新たな気づきや、コミュニケーション企画のヒ ントを掴んでいただければ幸いでございます。

記

日 時 <u>2018年2月27日(火) 15:00~17:15(開場14:30)</u>

会 場 ワコール スタディホール京都 2階会議室

< JR京都駅 八条口 徒歩5分 京都市南区西九条北ノ内町6 ワコール新京都ビル2階 TEL 075-556-0236 >



受講料 無料 (先着100名様にて締切とさせていただきます) 申込締切2018年2月21日(水)

> 主催 公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会 協力 京都広告協会 京都広告業協会

1.「聖護院八ッ橋総本店」のブランディング戦略 15:00~15:40

ゲスト: **鈴鹿 可奈子様** (聖護院八ッ橋総本店 専務取締役)



京都市生まれ。京都大学経済学部経済学科卒業、在学中カリフォルニア大学 サンディエゴ校エクステンションにてPre-MBA取得。

卒業後、信用調査会社勤務を経て、2006 年聖護院八ッ橋総本店入社。「守るべきことを守ること、続けていくことが大事」という父・鈴鹿且久社長のもと、長い歴史と伝統の味を守り受けつぎながらも、新しい商品づくりに日々努めている。

2011年には新しい形で八ッ橋を提供する新ブランド「nikiniki(ニキニキ)」を立ち上げた。

現在、専務取締役。

- **2.「媒体(メディア)としての京都新聞のこれまでとこれから」** 15:45~16:25
 - ・創刊140年 ~ 明治から平成、時代の変遷と京都新聞の歩み~
 - ・京都新聞(メディア)を活用した最近の広告、イベント、デジタルプロモーション 事例紹介
 - ・広告市場の潮流と京都新聞(メディア)のこれから ほか

ゲスト: 佐藤 寛之様 (京都新聞COM 営業局営業部課長)

- 3.対談「マスメディア、広告会社、広告主は、このままで生き残れるのか」16:30~17:15
 - ~マスメディア、広告会社が変化のスピードについていくには?
 - ~広告主の人材育成って、どうなっているの? ほか

ゲスト:猪熊 敏博様 (ワコール 執行役員 広報・宣伝部部長)



1987年アパレルメーカー入社。その後1991年、ワコール入社、企画デザイン事業部(現広報・宣伝部・制作課)に配属。インテリア事業、スパイラル(アート関連事業)を経て、2009年より広報・宣伝部広告・PR課。2017年より現職。

2016年10月、京都駅八条口に美的好奇心をあそぶ、未来の学び場 ワコールスタディホール京都を開設。新たな生活者との関係づくりを 目指している。

ゲスト: 伊吹 勇亮様 (京都産業大学 経営学部 准教授)



2000年京都大学経済学部経営学科卒業。

2005年京都大学大学院経済学研究科博士後期課程学修認定取得退学。 同年長岡大学産業経営学部専任講師を経て、2009年より現職。 著書に『広報・PR論』(共著/有斐閣、2014年)、『広告コミュニケーション研究ハンドブック』(共編著/有斐閣、2015年)など。 日本広告学会常任理事・関西部会運営委員長。